

## 活動写真



ビンダイ郡タインフック村に住むソウさんは牛銀行から得た資金と親戚から借りた資金を合わせ、妊娠している母牛を購入した。2014年8月に子牛を生んだ後、母牛が病気にかかり、母子ともに処分せざるを得なかった。その後、母牛を処分した際の肉代と自己資金を合わせ、自力で新たに母牛を購入した。病気にかかりにくいように牛小屋を改良し、現在、肥育をしている。



2014年6月にビンダイ郡ダイホアロック村で開催したアヒル・鶏肥育技術研修の様子。ビンダイ郡農漁業普及所の職員が講師を務めている。技術研修の他、本事業で支援した帳簿の書き方を指導している様子。



2014年4月にビンダイ郡ダイホアロック村のトゥイーさんを訪問し、支援された簡易貯水タンクのモニタリングを実施した。トゥイーさんは、簡易貯水タンクを得た後に家庭菜園にも取り組みたいと話した。



2014年5月にチョウフン村にて村づくり委員会が新たに牛銀行から牛を借りる世帯に条件や義務などについて説明している様子。



2015年5月にタインフック村で開催されたアヒル肥育に関する経験交流会の様子。アヒルの肥育について、研修で学んだ技術の実践度合やエサの種類、利益などについて各世帯が評価シートに記入している。この結果から、上手にアヒル肥育を行っている世帯に経験やコツを他の世帯に話してもらう。



2015年5月にフーロン村で牛銀行から牛を借りた世帯の母牛が子牛を出産したため、モニタリングに出かけた。この子牛を約半年間育て、牛銀行へ返す。その後、次の貧困世帯へ貸し出される。